

# Material Safety Data Sheet

発行日 2009/4/3  
更新日 2019/7/15  
バージョン 20190715

## GLITTER 2

### 1 化学製品および会社の表示

#### 1.1 製品に関する情報

1.1.1 商品名 Glitter2

#### 1.1.2 製品の表示

1.1.3 推奨する製品使用 テキスタイル用の熱転写フィルム

1.2 販売会社名 株式会社システムグラフィ

1.3 住所 916-0038 福井県鯖江市下河端町 414

1.4 電話番号 Tel : 0778-51-7132

1.5 FAX 番号 Fax : 0778-51-7135

1.6 Email e-mail : contact@s-graphi.co.jp

1.7 製造社名 Siser s.r.l.

1.8 住所 Viale della Tecnica, 18  
36100 Vicenza (VI) Italia

1.9 電話番号 Tel. 0039 0444 287960

1.10 FAX 番号 Fax 0039 0444 287959

1.11 Email e-mail info@siser.it,, alessandro.canacci@siser.it,  
Approval manager MSDS: Dr. Alessandro Canacci

### 2 危険性の特定

#### 2.1 危険性の分類

この原料は、ヨーロッパの CLP 規則 (EC) No 1272/2008 に従って有害と分類されていない。製品は可燃性があり、直火にさらしてはならない。

#### 2.2 人体および環境への危険性

製品はロールで供給される。室温で化学成分に影響されることはない。

#### 2.3 可能性のある健康被害

提供される形状は、対象外。

分解または燃焼による副生成物は（製品情報シートに記載されているような、通常の用途時は除外される）目、皮膚、または呼吸器への炎症を引き起こす可能性がある。

### 3 組成 / 化学物質に関する情報

#### 3.1 組成

##### 3.1.1 キャリア

粘着性ポリエステル

### 3.1.2 フィルム

無機・有機顔料で染色した熱可塑性ポリウレタンフィルムを、接着性のあるコポリエステルフィルムにラミネートしたもの。

## 4 応急処置

### 4.1 一般情報

炎症やその他の症状がある場合は、対象の人をその場から移動させ、医師に相談し、このデータシートを見せること。

### 4.2 吸入

データなし

### 4.3 皮膚

溶けたフィルムに触れた場合は、直ちに水または氷で患部を冷やす。物質の除去と火傷の治療について医師に相談すること。

### 4.4 目

他の外部粒子と同じように扱う。

### 4.5 摂取

口の中のものを取り除き、医師の診察を受けること。

## 5 消火処置

### 5.1 適切な消火物質

乾燥化学物質、泡または水のミスト。

### 5.2 不適切な物質

二酸化炭素：冷却されておらず、再点火を引き起こす可能性があるため。

### 5.3 爆発または火災のリスク

ポリマー化合物は燃焼する可能性がある。燃焼または分解時に刺激性または有毒性物質が放出される。

### 5.4 消防士の特別な指示

正圧呼吸フルフェイス型マスク器具、フェイスシールド付きヘルメット、手袋を着用すること。

### 5.5 危険な燃焼物質

火災の場合、製品は次の有毒ガスを発生させる可能性がある。

二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）、一酸化炭素（CO）、窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）

## 6 偶発的放出

### 6.1 関係者の注意事項

フィルム製品には不要。

### 6.2 環境に関する注意事項

製品を下水道や水路に廃棄しない。地域の規制を遵守すること。

### 6.3 流出または偶発的な落下

収集して適切な廃棄を行う。地域の規制に従って材料を廃棄すること。

## 7 保管と取り扱い

### 保管条件

涼しく、換気の良い場所で元の容器に保管し、40℃を超える温度条件下に長期間置かないこと。  
処理中の粉塵の吸入しないよう、換気等を行うこと。

## 8 露出制御 / 各個保護

室温では特別な保護の必要なし。

## 9 物理的および化学的性質

### 特性

側面：フィルムロール 色：多色 臭い：特徴的（典型的）

融点 N.A.

引火点. N.A.

発火温度. N.A.

発熱量. N.A.

20℃での水溶性 不溶性

## 10 偶発的な流出の処置

### 10.1 避けるべき熱分解条件

仕様通りに保管・取り扱いするならば商品は分解しない。

### 10.2 避けるべき物質

強力な酸化剤

### 10.3 危険な分解物

熱分解や燃焼は CO、CO<sub>2</sub>、刺激性の煙や水蒸気を発生させる可能性がある。

## 11 毒物学的情報

最新の情報では、毒物学的に危険な影響はない。

## 12 生態学的情報

生分解性のない製品。

## 13 廃棄物処理

特別な埋め立て地では、地域の規制に従って適切に処分すること。

## 14 輸送情報

GGVS / ADR / RID によると、危険な物質、商品と分類されていない。

ポリエチエン袋で保護され、パレット梱包で出荷される。

## 15 規制情報

この製品は、EU リストやその他の文献による分類を受けない。

## 16 その他の情報

ここに記載されている情報は、REACH 規制に関する。

製品は帯電する可能性があるため取り扱う機器はアースをとること。

不適切な取扱いが製品の品質低下を引き起こします。

ここに含まれる情報は特定の製品にのみ関与します。

この情報は、正確性、信頼性、完全性において私たちが提供できる最高のものであり、使用用途に関して、情報の適合性と完全性を確認するのはユーザー自身の責任です。